

自ら学び、共に伸びる

令和6年度が始まりました。本校2年目を迎え、本年度から学校教育目標を「自ら学び、共に伸びる」としました。

府中小学校の子供たちは、明るく素直で、前向きに頑張る子が多いです。また、学校まるごと図書館という環境を生かしながら、たくさん本を読み、感じたことや考えたことを言葉で表現する力も育っています。

そんな府小っ子たちが、私は大好きで、この子達の今と未来が輝くようにと願うばかりです。

一方で、そのせいばかりとは言えませんが、コロナ禍を経て人と関わる力が乏しくなっているようにも見えます。

学校は一つの社会です。その中で、小さい時から人と関わりながら楽しんだり、一緒に悩んだり、頑張ってやり遂げた達成感を味わったりすること、時にはけんかをしたり、失敗したりしながら、次はどうすればいいか学び、失敗を乗り越えていく経験は、人として成長する上でとても大切です。

また、目の前の子供たちはいつまでも小学生ではありません。10年後、20年後その先に、この子達が生きていく未来は、AIの更なる発達を含め、実に予測不可能です。

そんな未来を生きる子供たちに、「生涯にわたって主体的に学び続け、様々な考えをもつ人と協力しながら新たな価値を創り出す力」を付けることが私たちの使命だと考え、この学校教育目標としました。

始業式には、子供たちに「先生や大人は、みんなを教えることはできる。でも、代わりに九九を覚えたり、理科の実験結果から考えたりすることはできないよね。勉強するのは自分自身。そして、周りの人と関わりながら勉強することで、自分とは違う意見を受け入れたり、気づかなかったことに気づいたり、新しい考えが生まれたりする。そんな府小っ子に育ってほしい。」とこの目標にこめた思いを話しました。

また、子供たちだけでなく、私たち教職員も、自ら学び、共に高まりあいながら、子供たちの成長のため、チーム一丸となって取り組みます。



新しい学校教育目標の実現に向け、本年度も、学校と家庭、地域が手を携えて府小っ子たちを育てていけますよう、よろしく願いいたします。